



テーマ
Theme

『『共に生きる』
～高齢(者)への理解を深めよう～』

学校・園名
School name

彦根市立稲枝中学校(1年生)

講師等
Lecturer etc.

社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会
福祉用具センター

実施日
Date

平成24年2月14日

教科等
Subject etc.

総合的な学習の時間

授業 Class

まず、講師の方より「インスタントシニア体験」の目的とチャレンジ項目(課題)の説明がありました。その後、生徒たちは、高齢者の大変さを疑似体験できる、白内障体験用のゴーグルや手足のおもり、手袋などを装着して、階段を上り下りしたり、下駄箱で靴を履き替えたり、また、図書室で本を選ぶなどの各課題に取り組みました。

高齢者の身体的な不自由さだけでなく、それに伴う心理的な影響も体験し、さらには、高齢者にはどんな手助けが必要なのかについても考えるための授業でした。



感想 Impression

生徒より Impression from Children

- 高齢者の疑似体験では、靴の脱ぎ履きや階段の上り下りも大変でした。このような状況がずっと続くと、街に出るのが嫌になると思いました。
- ゴーグルをつけるとものが見えにくくなり、顔を近づけなければいけないのが不便でした。また、階段の段差がわからず、不安になりました。
- お年寄りには、見た目より苦労されているのがわかりました。もっと、ねぎらいの気持ちで接しようと思いました。
- 同居している祖父母に、今日の体験をいろいろしゃべりたくなりました。

学校より Impression from school

電話で依頼したその日のうちに対応いただき、事前打ち合わせ、当日の授業とスムーズに進めることができました。また、今回の対象は1年生でしたが、このような高齢者疑似体験を早い段階で、実施できたことはよかったです。

講師より Impression from lecturer

ご依頼から授業まで、あまり時間がありませんでしたが、担当の先生が事前打ち合わせも含めて、当日もいろいろと協力をしてくださり、混乱もなく実施できました。

私たちも、もっと生徒のみなさんに興味を持って学んでいただけるよう、がんばろうと思います。